

「行動医学研究」投稿規定 (2015年9月1日現在)

1. 本誌は、行動医学に貢献する論文（総説、原著、症例報告、資料および短報）で、他誌に発表されていないものを掲載する。
2. 投稿者は、本会会員に限る。共著執筆者も会員であることを要する。ただし、編集委員会からの依頼論文の場合は除く。
3. 論文の採否は、原則として独立した2名の専門家によって査読され、編集委員会が最終的に決定する。
4. 人を対象とする研究報告はヘルシンキ宣言（1964年採択、1975年修正、1983、1989、1996、2000、2002、2004、2008年改訂）の精神に則ったものでなくてはならない。
5. 実験動物を用いた研究報告は、各施設の動物実験指針に則って行われたものとする。
6. 本誌に掲載された論文等の著作権は日本行動医学会に帰属する。
7. 原稿の様式は次のとおりとする。
 - (1) 原稿は和文または英文とする。
 - (2) 原稿の表紙には表題、著者名、所属機関名、代表著者の通信先（以上和英両文）、原稿の種類、表および図の数を書く。
 - (3) 原稿は原則として Microsoft Word を用い A4 判用紙 30 字 × 25 行（750 字）横書きとする。短報以外の論文には、英文抄録（200 語以内）および和文要旨（A4 用紙 2 枚・1,500 字以内）を、短報には和文要旨（同、750 字以内）をつける。
 - (4) 英文原稿の場合も短報以外の論文には、英文抄録（200 語以内）および和文要旨（A4 用紙 2 枚・1,500 字以内）を、短報には和文要旨（同、750 字以内）をつける。
 - (5) 英文はすべて A4 判用紙にダブルスペースでタイプする。
 - (6) 原稿の各ページの左側に行番号を入れる。
 - (7) 短報以外の原稿枚数は図表を含めておよそ 20 枚以内、短報では 5 枚以内とする。
 - (8) キーワード（英語で 10 語以内）は、総説、原著、症例報告、資料では英文抄録のあとに、短報では表紙の英文タイトルのあとにつける。和訳を、和文要旨のあとにつける。
 - (9) 図、表は原則として英文とし、図の表題は別に A4 判用紙にダブルスペースでタイプする。また、本文中に図表が挿入されるべき位置を明示しておく。写真は、白黒では 1,200 dpi、グレースケールでは 300 dpi の解像度を必要とする。
 - (10) 引用文献は、引用順に番号をつけて最後に一括し、下記の記載例の形式で記す。本文中にも、「知られている¹⁾、または、…^{2,3)}、…¹⁻⁵⁾」のように文献番号をつける。著者が 7 名以上の場合は最初の 3 名を記し、あとは「他」（英文では et al.）とする。

【記載例】

〈学術雑誌〉 著者名, 表題, 雑誌名, 発行年 (西暦); 巻: 頁-頁。

- 1) 岡村尚昌, 津田 彰, 矢島潤平, 堀内 聡, 松石豊次郎. 睡眠時間は主観的健康感及び精神神経免疫学的反応と関連する. 行動医学研究 2009; 15: 33-40.
- 2) 田川隆介, 保坂 隆, 大須賀 等, 他. A 型行動パターンと虚血性心疾患—冠動脈所見における検討. 心身医 1984; 24: 203-8.
- 3) Shimazu A, Schaufeli WB, Taris TW. How does workaholism affect worker health and performance? The mediating role of coping. Int J Behav Med 2010; 17: 154-60.
- 4) Nakta A, Takahashi M, Haratani T, et al. Association of active and passive smoking with sleep disturbances and short sleep duration among Japanese working population. Int J Behav Med 2008; 15: 81-91.

〈単行本〉 著者名, 表題, 編者名, 書名, 発行所所在地: 発行所, 発行年 (西暦): 引用頁-頁。

- 5) 鈴木仁一. 循環器系. 樋口正元編. 情動のしくみと心身症—基礎から臨床まで. 東京: 医歯薬出版, 1982: 59-63.
- 6) Kasl SV. Stress and disease in the workplace: a methodological commentary on the accumulated evidence. In: Cataldo MF, Coates TJ, eds. Health and industry: a behavioral medicine perspective. New York: John Wiley & Sons, 1986: 52-85.

上記の記載例は、Uniform Requirements of Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (1993) に準じた。雑誌名の略記は、次の WEB サイトなどで確認すること。 <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

8. 査読終了後、最終原稿提出時には表紙、本文、引用文献、図表ともにオリジナルファイル（MS-Word, Excel, PowerPoint 等）を添付する。
9. 著者校正は 1 回とする。
10. 原稿は、原則として電子メールにより投稿すること（2013 年 3 月より）。原稿は、すべての内容（表紙、本文、引用文献、図表を含む）を 1 つの PDF ファイルにまとめ、編集事務局宛に（jjbm@accelight.co.jp）送付すること。

【投稿ならびに問合せ先】

〒 152-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 5F
株式会社アクセライト内
日本行動医学会編集委員会事務局宛
TEL 03-6801-6186 FAX 03-6801-6091

11. 投稿の際に著者全員は、発表内容に関する企業・組織や団体との投稿時から遡って 1 年間の潜在的利益相反 (COI) 状態の有無を、「日本行動医学会誌 自己申告による COI 報告書」(様式 1) に記載し、理事長に郵送ないし電子メール添付 (PDF にスキャンした様式 1) で提出する。

【自己申告による COI 報告書の提出先】

〒 152-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 5F

株式会社アクセライト内 日本行動医学会事務局宛

TEL 03-6801-6186 FAX 03-6801-6091

e-mail: jsbm@accelight.co.jp